

# 児童発達支援 夢門塾 自己評価表

。本評価表は、児童発達支援に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要と思われる点」などについて記入してください。

事業所名 児童発達支援 夢門塾相生

公表日

2026年 1月

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	5	0	人数の多い時間はフィードバックの時間をずらしたり、運動室を使用したりして対応している。	駐車場が混雑するので、フィードバックが長引きすぎないように気をつける。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	児童の人数に合わせて配置している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	名札にマークをつけたり、必要に応じて視覚支援を行ったりしている。また、何かあった時にSOSが出しやすい環境を心がけている。	玩具等の片付けがしやすいよう、さらに分かりやすい視覚支援をしていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎朝出勤後や児童が帰った後に掃除をし、玩具の消毒・倉庫内もこまめに整理している。また、換気も意識して行うようにしている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	必要に応じてプログラムの変更や順序の入れ替え等をして、対応できるようにしている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	職員会議を毎月行うようにし、業務日誌の活用も行っている。行事後は、全体でしっかりと反省会を行い次に活かせるようにしている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者様評価を活用し、保護者様の意見を把握したり、改善点の確認したりし、チームで改善できるよう実行している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	職員会やカンファレンス等で把握し、改善できるよう実行している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	保護者様評価を活用し、保護者様の意見を把握したり、改善点の確認したりし、チームで改善できるよう実行している。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	毎月社内研修があり全員が学べる機会がある事業所内でも支援の方針や対応について会議を行い、情報共有して理解を深められるよう努めている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	毎月職員会で話し合い支援プログラムの作成をしている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	毎回のフィードバックや、モニタリング時に参観をしていただき、様子を見ながら保護者様のニーズを聞き個別支援計画を立てるように進めている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	普段から情報共有を行い、全職員が共通理解できるよう努めている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	カンファレンスの際にしっかりと確認をし、さらに定期的に計画を確認し、共通した支援ができるよう努めている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	記録の確認や、職員間で情報共有を行っている。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	具体的に設定できるよう努めている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	早めに計画を立て職員全員で意見を出し、役割分担を行うので、全体でイメージが共有できている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	運動内容はご利用者様に合わせて毎週違う内容にしている。季節に合わせたイベント等も話し合いを行い、毎年固定されないよう工夫している。机上課題も発達に合わせて様々な内容が取り組めるよう工夫している。運動・課題・イベント、過去の記録を参考にしている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	ご利用者様に合わせて対応している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	情報共有を行い、その日の担当を決めている。	支援前にゆっくりと時間が取りにくい場合も、最低限の確認は行うようにしている。
21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	記録の確認や、業務日誌を活用し、情報共有を行っている。	支援終了後には時間が取りにくいのが、各々気になることは伝え合ったり、業務日誌の活用をしている。	
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	誰が読んでも分かりやすい記録を心がけている。	引き続き記録に目を通して児童理解に努めていく。	
23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	モニタリングを実施し、その際に見学してもらい実際に支援の様子を見てもらいながら計画について保護者様と話しをしている。		
24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	管理者・児発官が参加するようにしている。		
25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	必要に応じて連携できるようにしている。		
26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	情報共有できる機会を設けている。		

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	情報共有できる機会を設けている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0	相談支援事業所から助言をもらうことがある。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	提供時間が短く、地域のイベント等に参加することは難しいが、買い物体験や初詣など地域へ出向く機会を設けている。	提供時間内に参加できる地域へ出向く活動を採す等していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	フィードバックで話す機会を設け、必要に応じて別途話ができる時間を設けるようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	日頃からフィードバックの時間を利用し情報提供は行っている。	研修の機会は設けられていないので、今後検討していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に丁寧な説明を行っている。	
	保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点で踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	モニタリングを行い、丁寧に意思や意向を確認している。
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	丁寧に説明を行い同意を得ている。	
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	定期的にモニタリングを行い聞き取りをしたり、普段のフィードバック時に話をしたり、必要に応じて話をする時間を設けるようにしている。	
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	親子で参加できる夏祭りの開催。 児童発達支援での保護者会の開催や、放課後等デイサービスと合同での保護者会の開催をしている。	引き続き定期的に開催できるよう努めている。また、仕事をされている方も増えていくので、日時等も考慮できるよう検討していく。
40		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	申し入れがあれば迅速に時間を設けて対応している。	
41		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	夢通信・夢だよりや、SNSを利用して発信している。	
42		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報の取り扱いについては、契約時に確認をとり、それに沿い十分に注意を払っている。	
43		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	視覚支援を取り入れたり、個々の状況に合わせてフィードバックの部屋を分けるなど配慮している。	
44		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	提供時間が短く招待することができていないが、必要に応じて対応できるようにしている。市が開催した福祉関係従事者向けの見学会の会場として受け入れを行っている。	
非常時等の対応		45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	マニュアルを用意し、いつでも見られるように周知している。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	避難訓練週間を設け、全員が経験できるよう計画している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	契約時に確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	契約時に確認を行い、必要に応じて保護者に再度確認を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全管理は十分行った上で支援をしている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	契約時に丁寧に説明し、必要に応じて周知も行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	共有し再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	全職員研修を受けている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	現在身体拘束が必要な児童はいないが、必要であれば保護者に十分説明・了承を得て行う。	
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
<p>室内の掲示等、視覚的な配慮をさらに工夫していきたい。  保護者会等、保護者同士が交流・情報交換できる機会を定期的に設けることができるよう努めていく。  提供時間が短いので、地域への行事等には参加しにくいのが、機会が設けられるよう工夫していく。</p>						